

雨水、風呂水、川や池のそのままでは飲めない水を浄水、殺菌して飲み水を作る手順です

各部の名称

① 折り畳みタンク
10ℓ

丸形金網

残留塩素、pH試薬

次亜塩素酸
ナトリウム
(6% 500ml)

0.2mlスポイト

災害キットバッグ



使い方動画
QRコード

1 ゴミを吸い込まない為の準備



2 川や池から水を汲む

魚が生息する川や池の水を
使ってください

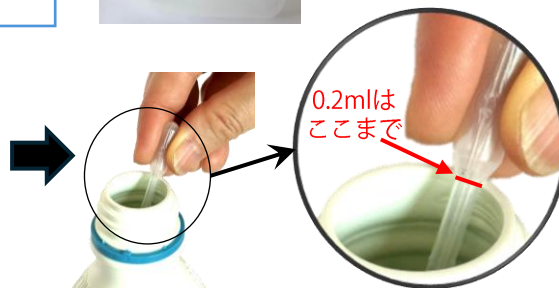


なるべく濁りやゴミが
少ない場所で水を採取
してください



タンクの水を
浄水器の上部タンクに
注いで浄水してください

3 浄水した水を別の水タンクに移して消毒



裏に続く→

4 残留塩素とpHの確認



試薬を1枚出して
2秒間水に浸けて
ラベルの色と
比較します

合格範囲 0 ~ 1



合格範囲 6 ~ 9



次亜塩素酸ナトリウムを入れすぎると残留塩素もpHも高くなります。合格範囲を超えた時は水を少し捨てて薄めて再度確認をしてください

5 水を汲む

蛇口を下向きにして
台やテーブルの端に
置き、蛇口のcockを
左側に回すと水が出ます



6 水の保管

塩素の殺菌効果で
数日は雑菌の繁殖等を
抑える事が可能ですが
**3日を超えたら飲用は
お控えください**



ご注意 本製品は雨水・風呂水・河川水などを浄水・殺菌し、安全な飲料水へ変える性能を備えています。川や池の水を浄水する場合は**魚などが生息する水をお使いください**。魚の生息は安全な水の目安になります。また風呂水を使う場合は**入浴剤を含んだ水は使用しないでください**。入浴剤成分を完全に除去出来ません。実際に京都市内の鴨川の水で水道水質検査51項目を全てクリアした実績がありますが、全国すべての河川や池で同様の結果を保証するものではありません。大都市中心部を流れる河川水を飲料水に変える程度の実力を持ちますが、災害時など水が不足する一定期間（約3週間）使用に留めてください。

次亜塩素酸ナトリウムを使った消毒液の作り方

500mlのペットボトルに付属の次亜塩素酸ナトリウム（6%）を入れた時の必要量です。災害時に水が限られている状況でのみ以下を参照してください。

用途	推奨有効塩素濃度	必要な次亜塩素酸ナトリウム量	水ですすぎ不要の使い方（災害時対応）
テーブル・調理器具の消毒	約200ppm (0.02%)	1.7 ml (ペットボトルキャップ1/4杯弱)	スプレーまたは布に浸して拭き、その後乾いた布で拭き取り
哺乳瓶・食器の消毒	約50ppm (0.005%)	0.4 ml (0.2mlスポイト2回)	布やペーパーで丁寧に拭き取り乾燥。
手指の消毒			※皮膚刺激の恐れあり。使用時は短時間接触→乾いた布で拭き取り。

※人によっては刺激により皮膚が荒れる可能性がありますので、その可能性がある場合は直ぐに使用をやめてください。

202512